

～Thank you～

谷地南部小学校  
校内研究だより  
2023. 5. 9  
No.2 文責 荒木秀

# あなたの学級開きは？

新年度が始まって、一か月が経ちました。伊藤先生と荒木以外は、新しいクラスを担当されているので、学級が軌道に乗るようご苦労なされた一か月だったのではないのでしょうか？お疲れ様です。

ところで、先生方は新しいクラスを担当するとき、どんな学級開きをしますか？学級開きは、学級経営のスタートです。「どんな先生なんだろう？」「どんな子どもたちなんだろう？」独特の緊張感の中で、先生方が最初に子どもたちに語ることはどんなことでしょうか？ぜひ、教えてほしいです。

なぜゆえに、研究部が学級経営にまで口を出すかということ、学級経営と授業は密接に関わっているからです。どんなに優れた指導技術をもっていても、子どもとの信頼関係がなければ、授業はうまくいきません。だから、先生方の秘めた方法を教えていただきたいのです。

アンケートを作っておきましたので、12日までご回答よろしくお願ひいたします。個人研究のテーマもこちらで承りますので、研究全体会に参加されたみなさん、すみませんが必ずのご回答よろしくお願ひいたします。QRコードから入れます。



ちなみに、荒木の方法は...

- 子ども達の自己紹介はしません。

初日って結構バタバタしますよね。私はゆっくりと落ち着いた中で、自己紹介をしてほしいので次の日にします。子ども達には、「わたしの取扱説明書」というプリントを渡して書いてきてもらいます。

- 担任の自己紹介は、質問形式で。

自分からは何もしゃべらず、子ども達からの質問に答える形で自己紹介をします。1枚の付箋に1つ質問を書いてもらいます。数の多かった質問から答えていきます。「好きな食べ物は？」「結婚してますか？」和やかな（騒がしい？）雰囲気の中で答えていきます。「先生は怖いですか？」この質問が出たら、しめたものです。怒るポイントを説明します。私の場合、「①ウソをつくこと②人を傷つけること③みんなががんばるときにがんばらないこと」※の3つです。これ以外は何をやってもいいよと最初に伝えます。

※①人を幸せにするウソはOK。②傷つけるのは、体も心もダメ。③「がんばらない」と「がんばれない」のは違う。詳しくは、荒木に聞いてください。